

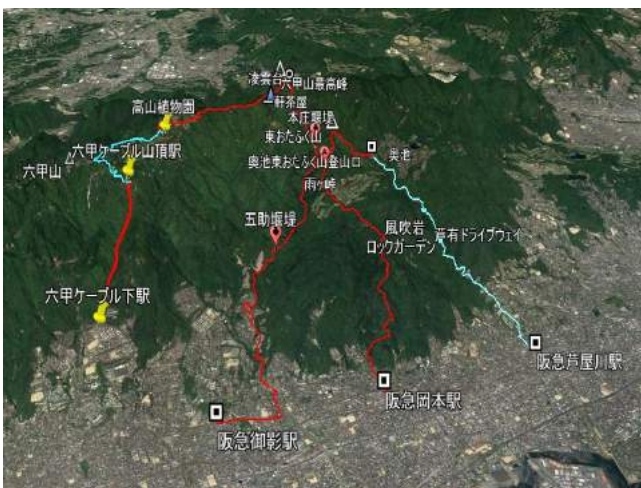
【Photo Album & スライド動画】

2018.6月 梅雨の晴れ間 久しぶりに 東六甲を歩く【2】

東灘岡本 保久良神社から尾根筋を風吹岩・雨ヶ峠を経て東おたふく山へ 2018.6.22.

いつも気になっていたお多福山 胸を膨らませて阪急岡本駅からスタート

ずいぶん久しぶりのルートをハイク 草原が広がるお多福山へ 奥池に降りる



6月16日 六甲山上 高山植物園から東へ縦走路を歩いて、六甲最高峰に登り、そこから六甲越の古道 魚屋道・住吉道が通る住吉谷を下って、東灘へ。表六甲の急な谷筋 住吉谷を久しぶりに walk。

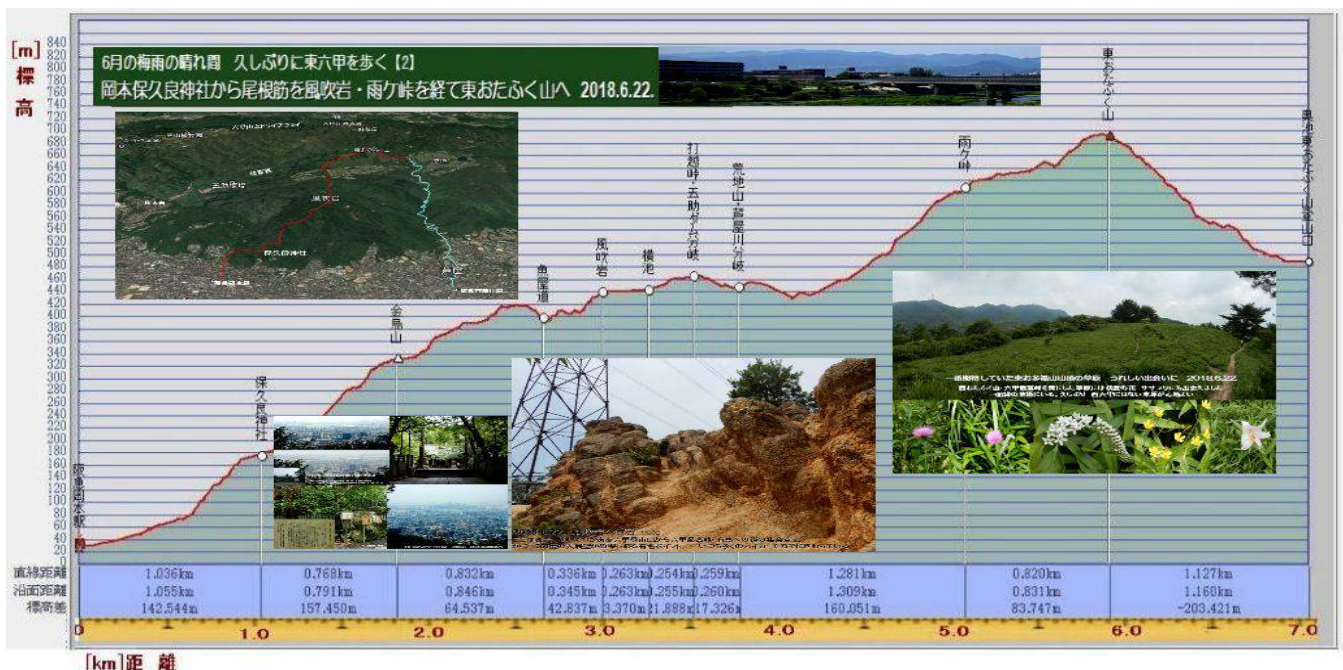
引きつ続き、6月22日 ぜひ歩きたかった表六甲の尾根筋を歩いて、草原が広がるお多福山へ期待いっぱいに出かけました。

眼下に東灘の沿岸部を見下ろす保久良神社・久しぶりの巨岩 風吹岩・芦屋GCを横切りまじかにみる六甲稜線等々変化に富んだ表六甲の尾根歩き。岡本駅から3時間ほど。尾根筋の緑を楽しんだ展望コースから、林の中を抜け、六

甲稜線を直上に眺める東お多福山山上の緑の草原から山頂へ。下山路奥池への下りが短いのも年寄りには魅力でした。

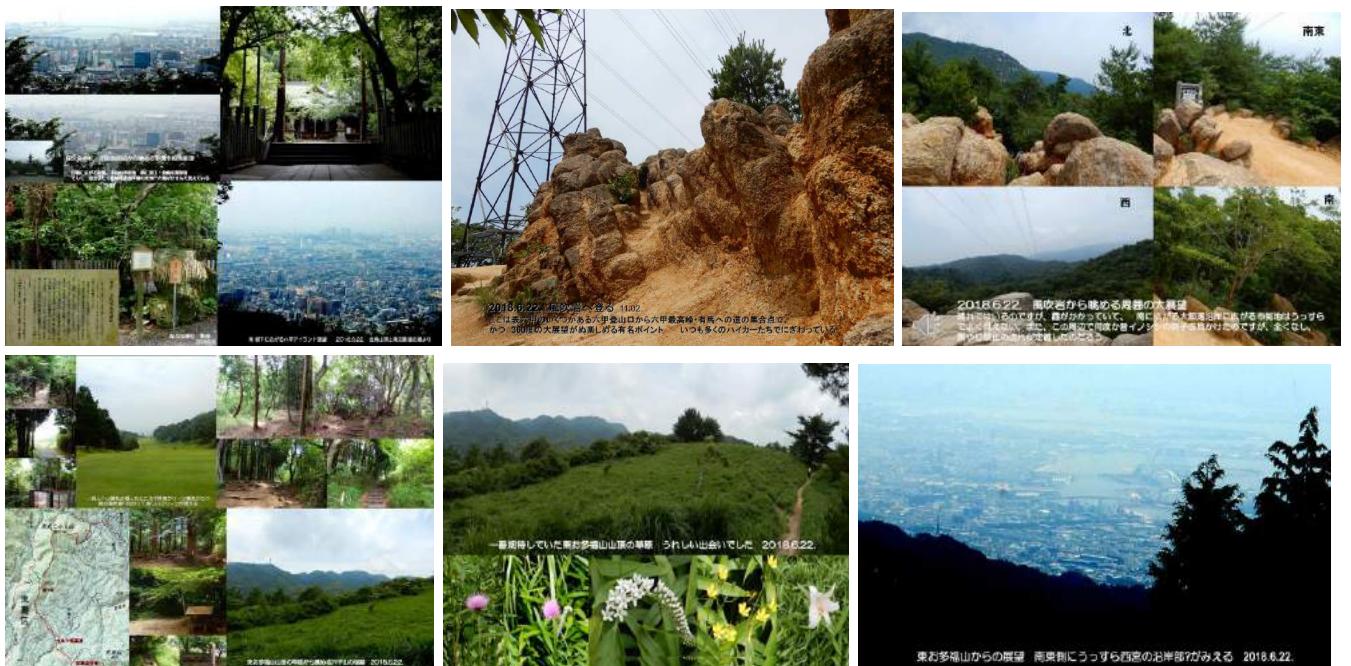
梅雨の晴れ間 霞んで大阪湾沿岸がかすんでいたのは残念でしたが、念願だった東お多福山に登れ、六甲稜線をバックに初夏の花咲く心地よい緑の山上草原に出会えて喜び一杯のうれしい東お多福山 walk になりました。

阪急岡本駅→保久良神社→金鳥山→風吹岩→芦屋GC→雨ヶ峠→東お多福山→奥池登山口→阪急蘆屋川駅





一番期待していた東お多福山山頂の草原 うれしい出会いでした 2018.6.22.



尼崎と西宮の境を流れる武庫川 この土手から眺める東六甲の姿は私にとっては小さい頃から朝夕慣れ親しんだ景色。東端にこんもりと甲山がみえ、その後ろに東六甲の山々が連なる六甲が一番美しく見える景色。電車に乗ると毎度探す景色でもある。須磨に移り住んで、西六甲に登る機会は増えましたが、東六甲に行く機会もなく、イメージだけが頭に残っている。

須磨西六甲の鉄拐山から眺める六甲の山並み。六甲稜線の山々の後遠くに隠れるように、東六甲の山々の山裾が遠望される。

「長いこと東六甲の六甲最高峰や表六甲住吉谷 それに山裾だけが見えてい
るお多福山・甲山にも登っていない。今はどないなっているのだろうか？」
と好奇の虫が騒ぐ。

かつてよくハイキングに出かけた場所ではあるが、住宅地として大きく変貌した阪神間六甲の山腹。色々話は聞か・・・と興味深々。

この梅雨の晴れ間 電車にさえ1時間もかからず麓に行けるので、
毎日の健康 walk に東六甲へも足を延ばそう。

一番行きたいのは住吉川の谷筋とお多福山そして最後は甲山へと。





6月22日晴天の朝9時半 お多福山ハイクに胸膨らませて、阪急岡本駅に降りる。六甲連山から沿岸部までの距離が短く、六甲山麓の急傾斜地に広がる東灘の街。今は高級住宅街・学生の街と大きく変貌を遂げた阪急岡本駅に降り立つのも久しぶり。駅の東から踏切を渡り、住宅の中の坂道を北へ上る。傍らには保久良神社への道標が立っている。表六甲から六甲へのハイキングコースとして、一番ポピュラーな道の一つである。正面に保久良神社のある尾根筋を眺めながら坂道を登りきると天井川が流れ下る八幡谷の入口。保久良神社へは右に車道があり、山を登るのですが、まっすぐ川に沿って公園を抜けて、山道を登って保久良神社へ行く。緑に包まれた林の中 ほどなく傾斜が緩くなり、尾根の上 保久良神社の境内に。すぐ前には尾根筋を金鳥山を経て 六甲へ上る案内標識が見える 突然 尾根の上にある保久良神社の境内で イノシシに遭遇 ええ!! 住宅地のすぐ上 保久良神社にもイノシシがいるのか・・・ この尾根筋の上 風吹岩周辺には以前からイノシシの親子が出てくると知っていたので、尾根筋でイノシシに出会うかも・・・と想像していましたが。。。いきなりの出会いにびっくり。



南北に延びる尾根の先端にある保久良神社 正面鳥居前からは東神戸の市街地から大阪湾が一望 絶好の展望地に整備されていました。市民憩いの場所でもあるが、緑に包まれた静かな森。かつて神社が焚く篝火が沖行く船の航行の目印であり、境内には幾つも巨岩の磐座があり、神宿る森。そんな雰囲気漂う静かな森である。





東灘市街地の展望を楽しんだ後、境内を抜けて、北へ尾根筋を登ったところに金鳥山・六甲最高峰・有馬への案内板があり、緑の樹木に包まれた心地よい尾根筋の登山道 緑を満喫しながら金鳥山から風吹岩へ登ってゆく。



少し登ったところで、樹木の中に左へ休憩所ありの標識、南側に展望の利く広場。北側は樹木に覆われていましたが、このあたりが金鳥山頂上周辺で、六甲アイランド周辺が遠望できました。また、北の林の中に金鳥山の頂上探しましたが、三角点を見つけられず。視界が開けず通過して、元の登山道に出て 登山道は金鳥山の北側への下り坂の道に。





保久良神社から30分ほど金鳥山を北に下り終えたところが西へ八幡谷・住吉谷の分岐点。ここから、道は熊笹の中。

熊笹を抜けると杉林の中。同じ尾根筋の林の中ですが、次々と森の様相が変化。また、山は花崗岩の山なのですが、この尾根筋道も土が真砂土・赤い粘土質だったり、土砂だったり、場所場所で一機に色々変化していて面白い。六甲山そのものが長い年月の中で、さまざまに変化してきた歴史なのだろうと。

緑の中を抜けるとT字路に出て、南から登ってきた古道「魚屋道」に合流する。 芦屋の弥生の高地性集落「会下山遺跡」から上へ登り、魚屋道に合流して風吹岩へ登ってくる道で。以前何度かこの道も登ったことがある道だ。 ここまでくると風吹岩はもうすぐ。

また、空が開けて 明るい尾根筋道に 次々とコブを超えて登る度に 森の色が次々と変化して美しい。空が開けて道がだんだん急になり、岩肌が露出したゴロゴロ道の登りに 風吹岩近しと。



ゴロゴロ道を登りきると右に大きな岩壁の出口に飛び出し、ぱっと視界が開けたT字路。今見た岩壁が風吹岩。1102 保久良神社から、約1時間で360度の大展望が開ける風吹岩の上に立ち、久しぶりに周囲の山々や霞んではいるが、大阪湾の遠望 そして六甲の山を渡りゆく送電線等々 記憶を思い起こしながら大展望を楽しみました。



2018.6.22. 風吹岩から眺める南側 東灘市街地の展望

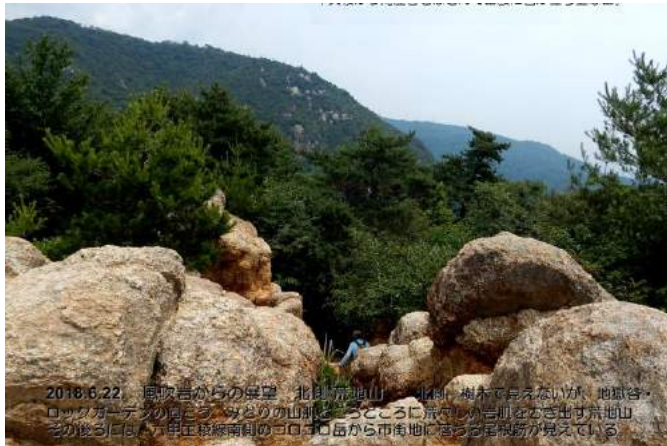


2018.6.22. 風吹岩へ登る 1102

2018.6.22. 風吹岩から眺める周囲の大展望
 曇っているのですが、露がかかっていて、南に広がる大阪湾沿岸に広がる市街地はうっすら
 とよく見えない。また、この周辺で何度か昔イノシシの糞子を見かけたのですが、全くなし。
 獣や鳥の止の音が定着したのだろうか



2018.6.22. 風吹岩からの展望 西側の谷を送電線が六甲の山を渡ってゆく
打越山の尾根筋の向こうに西おたふく山と重なって 六甲の主稜線がかすんで見えている



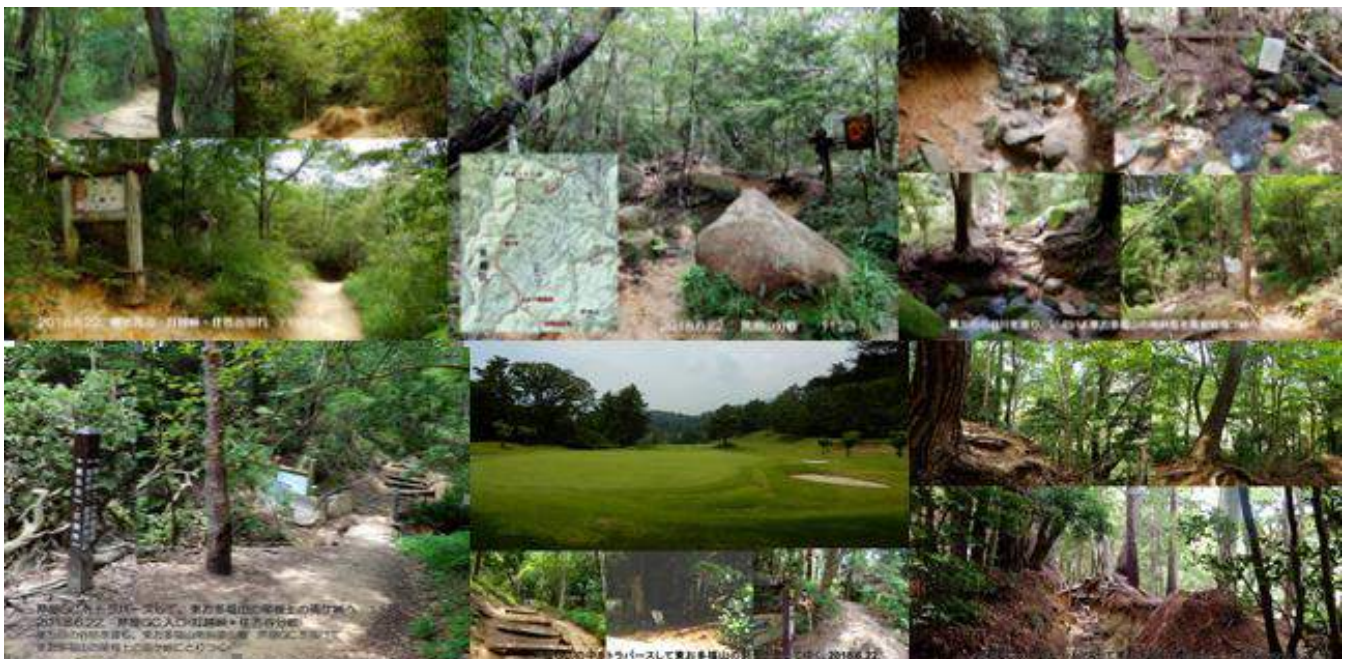
2018.6.22. 風吹岩からの展望 北側前山 北側、樹木で目えないが、地獄谷・ロックガーデンの向こう、みどりの山肌とところどころに荒れし岩肌をかき出す荒地山
の後ろには、六甲主稜線南側のコロコロ島から市街地に向かう尾根筋が見えている。



Photoを引き延ばすと荒々しい岩がいくつも立ち並ぶ姿がよくわかる。
クライミング・ボルダリングの名所と聞く荒地山
風吹岩から六甲主稜線の南側の尾根筋を遠くゆく送電線も見えている

2018.6.22. 西側には 日本のロック・クライミングの発祥地 岩肌を随所にむき出す荒地山

荒地山はロックガーデンの中央稜から高座谷をはさんで山腹に岩が立ち並ぶ山。多くのクライマーが訪れる山である。まだ 梅雨時 期待道理には行きませんでした。岩の上に立ってぐるりと体を1回転させて眺める360度の大展望実に爽快でした。風吹岩の展望をそうそうに切り上げ、樹林帯の中 尾根筋を下って東お多福山へ向かう 11:10 すぐに打越山別れ・荒地山の別れの標識を過ぎ、樹林の中 黒五谷の谷川を渡るといよいよ東お多福山の尾根筋にとりつく。東お多福山南斜面山腹に広がる芦屋GCの中を通過して、山腹を登るとほどなくお多福山稜線南端 雨ヶ峠到着である。



芦屋GCをトラバースして、東お多福山の尾根上の雨ヶ峠へ 芦屋GC入口(打越峠・住吉谷分岐) 11:33

20分弱で斜面を登り切り、南北に延びる東お多福山の稜線尾根の南端、樹木に包まれた雨ヶ峠に到着 12:00
 ここからまっすぐ北へなだらかな稜線尾根を登れば、東お多福山。
 六甲最最高峰・有馬への道「魚屋道」は西へお多福山の稜線を乗越してゆく。



雨ヶ峠から北へなだらかな頂上稜線を少し歩くと視界が開け、広い山草原が広がる東お多福山山上である



林を抜けると眼前には広い草原 奥には見慣れた西おたふく山の鉄塔が飛び込んできた
西おたふく山の山頂部に到達。何度か来た記憶はあるのですが、もっと熊笹だったかあ
ちゃんとした記憶なし。 山頂は一番北だ 2018.6.22. 12:05



一番期待していた東お多福山山頂の草原 うれしい出会いに 2018.6.22.

西おたふく山・六甲最高峰を背にした草原には初夏の花 ササユリにも出会えました
一面緑の草原にいる。久しぶり 西六甲にはない草原が心地よい

東お多福山の山頂は山上の一番北の端 この草原を越えた奥である





お多福山山上からながめる六甲稜線 左に電波塔のある西お多福山 右中央鉄塔の見える六甲最高峰



東お多福山山頂の草原【1】 南側を振り返る 2018.6.22.



東お多福山山頂の草原【2】 北側にもう一つ東お多福山の山頂がある丘が見える 2018.6.22.

是非 遠い朧気の記憶しかない東お多福山の草原 こんなに美しく整備されて、初夏に咲く山野草にも出会えた。
 西六甲にはない草原の山 緑が目にしむ 草原に寝転んで こんなに近くに 六甲稜線の鉄塔も見られました。
 もっと早く来るべきだったと うれしい出会いに大満足。 頂上へは北へ もう一つ丘を登る



東お多福山山頂 樹林の中を抜けるとお多福山稜線の北の端
東側が開けた平らな丘が見えてくる。坂道を上げればお多福山の山頂です。2018.6.22.



東お多福山山頂 山頂は東側が開けた広場 2018.6.22. 12:27



山頂広場の北の端に「ここは東お多福山です」と書かれたコース標識 2018.6.22.
左:雨ヶ峠 右:東お多福山バス停 後:土樋割峠を越えて最高峰(石宝殿)
東お多福山には三角点はなく、これが山頂標識の代用?

東お多福山には三角点はなく 山頂広場北の端に
左:雨ヶ峠 右:東お多福山バス停 後:土樋割峠を越えて最高峰
(石宝殿)のコース標識が建っている
この柱に「ここは東お多福山です」と書かれていて、
これが山頂標識の代用?
また、この山頂広場からは東側がオープンで、芦有道路沿い山
中に開けた街「奥池」が見える。
その奥が大阪湾沿岸の市街地が遠望されるのですが、やはりぼ
んやりとしか見えす。



北:土樋割峠を越えて
最高峰・石宝殿への下り口
東:芦有道路 奥池
東お多福山バス停への下り口
南北に通る東お多福山 東お多福山山頂広場の北端の下り口を眺める 2018.6.22.
山頂では奥山に視界が開け、東に見える尾根筋の山腰には奥池の住宅地。
そして遠く大阪湾沿岸の市街地が遠望されるがここでも今日は曇りすぎて遠くはほとんど見えませんでした。



山上稜線を南の雨ヶ峠へ



東お多福山からの展望【1】 2018.6.22.
 視界の開けた東側には芦有道路沿い山中に開けた街「奥池」が見える



東お多福山からの展望【2】 2018.6.22.
 目を南東側に転ずるとうっすら西宮の沿岸部がみえるが全体にかすんでよく見えない。
 やっぱり 梅雨の晴れ間です

東お多福山から奥池へ降る 2018.7.22. 12:32
 念願だった東お多福山に登れ、梅雨の晴れ間 霞んで大阪湾沿岸がかすんでいたのは残念でしたが、六甲の稜線をバックに初夏の花咲く心地よい緑の山上草原に出会えて喜び一杯でお多福山山頂を後にして、東の芦有道路に登山口とバス停がある「奥池」へ下る。
 芦有道路が開通してできた山中の高級住宅地。ハイキングの地だったのですが、一番短く下山できて、バスに乗って阪急芦屋川駅に行ける。また、六甲山上稜線や住吉谷からの下山口でもある一度行って見たかった場所でもある。



東お多福山から奥池へ降る 2018.7.22. 12:32
 念願だった東お多福山に登れ、梅雨の晴れ間 霞んで大阪湾沿岸がかすんでいたのは残念でしたが、六甲の稜線をバックに、初夏の花咲く心地よい緑の山上草原に出会えて喜び一杯で山頂を後にする



東お多福山山頂から山上を東へ 正面の奥池の街に白くなって下ってゆく 2018.6.22



山上を後に、一帯に樹林の中 急な坂道になって下ってゆく、12:37



歩きにくい山道でしたが、15分ほどで 奥山の取水渠の横に出るが、急の坂も出られず、山頂を北へ歩いてゆく、12:48



山道を下り終えて、小さな谷川を渡り、土桶割峠から下ってきた舗装道路に合流 12:56



芦有道路奥池 東お多福山登山口バス停に到着



2018.6.22.13:03

梅雨の晴れ間 霞んで大阪湾沿岸がかすんでいたのは残念でしたが、
 念願だった東お多福山に登れ、六甲の稜線をバックに初夏の花咲く
 心地よい緑の山上草原に出会えて喜び一杯のうれしい東お多福山 walk
 眼下に東灘の沿岸部を見下ろす保久良神社・久しぶりの巨岩 風吹岩・
 芦屋 GC を横切りまじかにみる六甲稜線等々
 岡本駅から2時間ほどの中でゆっくりと この変化に富んだ展望コースを歩け、頂上からの下り
 が短いのも年寄りには魅力です。
 また、奥池の街に降りて芦有道路を阪急芦屋へ下るバスに乗るのも初めて。もっとバス賃が高い
 と思いましたが、案外安いのもびっくり。
 いつも気になっていたお多福山 すっきりしました。
 でもやっぱり一番は西六甲にはない緑の草原かなあ
 ぜひ今度は展望が聞く時期にと。
 よく整備された芦有道路をバスで下りながら

2018.6.22. 午後 Mutsu Nakanishi



山頂広場の北の端にたてば東お多福山ですと書かれたコース標識 2018.6.22.
 左:雨ヶ峠 右:東お多福山(六甲) 後:土曜時刻を過ぎて最高峰(石堂峰)
 東お多福山には三角点はなくこれが山頂標識の代わり

東側が開けた広場の東お多福山山頂 2018.6.22.

岡本保久良神社から尾根筋を風吹岩・雨ヶ峠を経て東お多福山へ 2018.6.22.



[km]距離

2018 6月 梅雨の晴れ間 久しぶりに 東六甲を歩く

1. 六甲高山植物園より六甲最高峰を経て
久しぶりに住吉谷を下る 2018.6.14.

2. 岡本 保久良神社から尾根筋を風吹岩・
雨ヶ峠を経て東おたふく山へ 2018.6.22.

梅雨の晴れ間 久しぶりに六甲山上 Walk
東六甲の六甲高山植物園・六甲山最高峰へ
長いこと歩いていない東六甲の住吉谷を下りました。
また 別途 以前から気になっていた六甲越の古道・
東おたふく山への道を巡りました。

もう何十年も歩いていない住吉谷・おたふく山
雨上がりで美しい新緑の中を種々初夏の野草にも出会
え、うれしいwalkでした。



私の一番好きな六甲の景色のひとつ 武庫川土手から眺める東六甲の姿
小さな時から、私の慣れ親しんだ景色でもある



6月の梅雨の晴れ間 久しぶりに東六甲を歩く【2】
岡本保久良神社から尾根筋を風吹岩・雨ヶ峠を経て東お多福山へ 2018.6.22.
すいぶん久しぶりのルート 草原が広がるお多福山から奥池に降りる
いつも気になっていた東六甲お多福山 楽しいハイクでした

